



# 天橋立名松リバーズ だより

No.6  
2005年7月号

編集・発行  
天橋立名松リバーズ  
実行委員会事務局

〒626-100001  
京都府宮津市文珠437  
天橋立総合事業(株)内  
TEL 0772(22)53004  
FAX 0772(22)53005  
<http://www.tane.or.jp/re-birth/>

● 松の悲鳴がよるこびに...

## 創作活動が

## 本格的にスタート!

京都伝統工芸専門学校のみなさん  
65人大挙リバーズ館に来館 視察・交流

6月29日、京都伝統工芸専門学校の松井校長、

須藤教授を初め学生65人がお越しになり、リバー

ズ館を視察、文珠公民館で意見交流をした後、各

松材倉庫4ヶ所をご案内しました。

学生さんからリバーズ実行委員会に橋立の松材

で作った2点の力作を寄贈いただきました。

松村校長先生、須藤教授の熱意に感謝感激です。

雨がふる中、京都伝統工芸専門学校のみなさま、

本当にありがとうございました。



松村校長先生のご挨拶  
(文珠公民館於)



熱心な学生たち  
(文珠公民館於)



須藤教授のお話  
(文珠公民館於)



仏像の力作



リバーズ館1Fの展示館於



リバーズ館2Fの創作館於



寄贈いただいた  
ふくろうの作品



寄贈作の鯉



(株)のまの倉庫於



岩滝倉庫於



創作のための松材を搬出  
松井物産倉庫



松の根っこ視察



倒れた松を利用して作ったオブジェや写真パネルなどが並ぶ「天橋立名松リバーズ館」

# 天橋立 台風被害の松展示

新聞 2005.6.16

昨年10月の台風23号で倒れた天橋立(宮津市)の松の活用に取り組み市民グループ「天橋立名松リバーズ実行委員会」(約100人)が、倒れた松を使ったオブジェや台風被害を伝える写真パネルなどを展示した施設「天橋立名松リバーズ館」を天橋立近くの同市文珠に開設した。委員会では「天橋立の景観保全や自然保護を伝える場にした」と意欲を見せている。

5月末に開いた施設は、机(長さ4m、幅1m、高さ1.2m)と、北近畿タンゴ鉄道(KTR)さくらをのりこみ準備を進めた。天橋立駅前にあり、会員のめざした企業から無償で提供された。1階は展示スペースと鉄骨3階建て延べ約100㎡、高さ約1.5mの松を削った。約1か月前から会員などのオブジェが並ぶ。壁に張り、2人掛けイス(長さ1.2m、高さ0.6m)や

市民グループ「景観保全など伝える場に」

## リバーズ館オープン オブジェ、写真など

は天橋立の台風被害や会の催しなどの写真パネル約40枚、落語家の桂福治さんや服飾評論家の市田ひろみさんら有名人32人から寄せられた激励のメッセージを掲示している。  
2階は制作室で、観光客らが直径数十センチの松の薄い板にフェルトペンを使って絵や言葉を記入して楽しむことができる。板は1枚300円で、全額が実行委員の基金に入る。3階は松の乾燥場として使い、約100本を保管している。  
幾世淳紀・委員長(62)は「文珠地区の街づくりの中核として大切に利用していきたい」と話している。  
午前9時～午後5時。入場無料。

# 台風23号で倒れた天橋立の松

京都新聞 2005.6.30



台風23号で倒れた後、保管されている松の状態を確認する学生たち(宮津市須津)

# 彫刻で倒木に「命」再び

一本に目を通し、木目やひび割れの発生状況を熱心に確認。原木四本と製材後の平板十五枚を選んだ。  
原木は後日、京都で製材した後、必要な部分を切り取って乾燥させ、文殊菩薩像については、丸地元の動きに、京都伝統工芸専門学校(園部町)が協力し、松を文殊菩薩の考案方に通じ、学んだ入り、来年二月ごろ、完成を目指すという。  
「自然からの授かり物を大切に。伝統工芸の学生が分担して制作に協力し、松を文殊菩薩の考案方に通じ、学んだ入り、来年二月ごろ、完成を目指すという。」  
「元々贈ることになった。」  
「仏像彫刻専攻の二年、廣瀬有香さんは「松の良

園部の生 専門学校の生

## 観音像など彫り 地元へ寄贈へ

学生らは二十九日、松が保管されている宮津市なをを訪れ、制作意欲に燃えながら材料となる松の木を選んだ。  
この日は、仏像彫刻や木彫刻、木工芸を専攻する学生六十三人と、仏像彫刻を指導する伝統工芸士の須藤光昭教授、松村賢治校長が、宮津市と岩滝町にある倒木の保管場「天橋立名松リバーズ実行委(幾世淳紀委員長)生らら積み上げられたクマツヤアカマツの一本



小田顧問のお話  
(リバー ス館 2F 於)



熱心に聞く子どもたち  
(リバー ス館 2F 於)

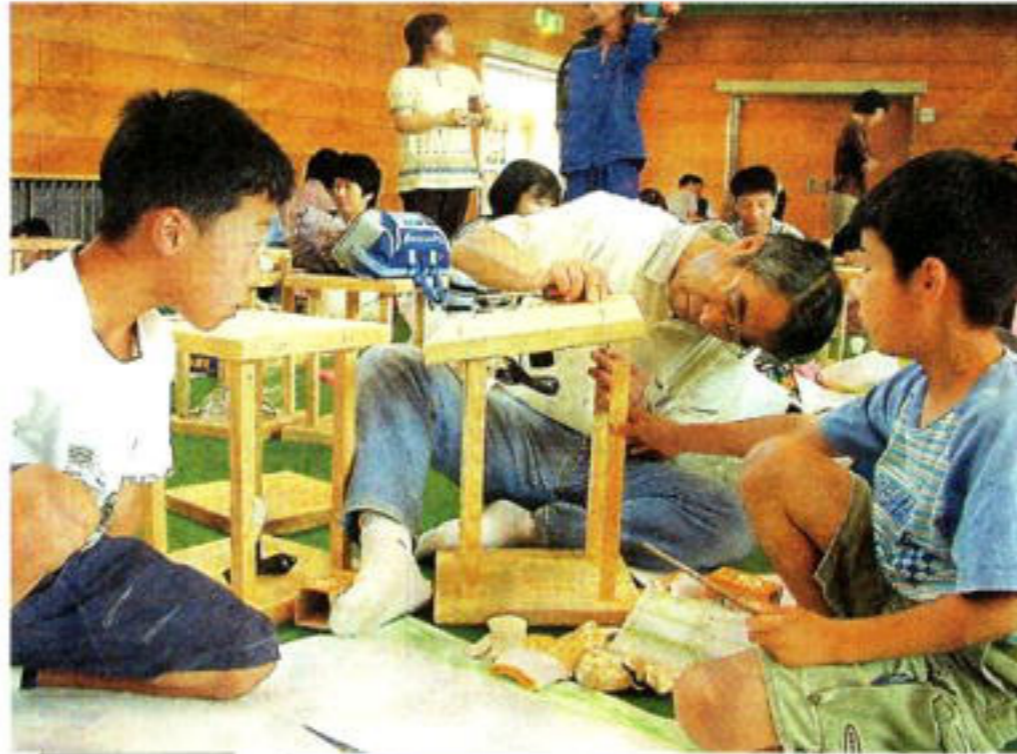
宮津市立吉津小学校 福田校長

担任の先生が引率され、

児童たち15人が、リバー ス館で観光と松の勉強会を開く

7月1日(金)、天橋立海水浴場海開きのセレモニーに、浜辺でリズム体操をして協力してくれた吉津小学校5、6年生のうちの5年生が、その後、天橋立名松リバー ス館を訪れ、展示館を見学した後、2Fの創作館で約40分間、学習会をもちました。児童たちから天橋立への観光客数、天橋立温泉のことや、倒木した松の数や、何故倒れたのかなど、いろいろと質問や意見が出されました。観光問題は、小田顧問(天橋立観光協会副会長)が、リバー ス館のことは、幾世委員長がお話しました。児童たちは、暑い中、熱心に勉強してくれました。子どもたちの目が輝いていたのが印象に残ります。  
福田校長先生・担任の先生、ありがとうございました。

## 台風23号被害 天橋立のシンボル



宮津・府中小  
児童ら

名勝・天橋立を望む宮津市  
津市中野の府中小(生駒正子校長、百十二人)体

### 出来栄えに笑顔

# 倒木松あんどんに

松を材料に使ったあんどん作りに取り組み、天橋立のシンボルである松に新たな命を吹き込んだ。児童が台風被害の復旧活動に参加したことなどから、同小PTA(齊藤優会長)が府中実業会青年部(長本義浩部長)の協力を得て、家族学級集會行事の一環として企画した。

あんどんは、高さ六十センチ、三十センチ四方。参加した約二百五十人の親子らは、準備された上板と底板の四隅に穴をあけ、ネジを使って四本の柱で固定するなど息の合った

思もびったりにあんどん制作に取り組む親子ら(宮津市中野・府中小体育館)

# 北海道大学「ポプラ並木再生」事業に学ぼう！

北大では、台風18号（2004年9月8日）で北大構内の樹木が、1500本、ポプラ並木20本（全体は51本）が倒木し、大変な被害にあわれました。北大では、直ちにポプラ並木再生に向けて大学あげて取り組んでおられます。

中村北海道大学総長は、「ポプラ並木が北海道大学のシンボルであると同時に、北海道を代表する貴重な歴史的・観光資産であるという紛れもない事実です。」

北海道大学が英知を集結して決めたポプラ並木の再生方法は、北海道大学の基本理念の一つである「フロンティア精神」に満ちあふれたものです。それは根元から倒れた19本のうちから倒れた際の衝撃が少なく再生の見込みが高かった1本30トンもあるポプラ2本を立て直し、残りは並木のポプラの枝を土に埋め込み育てている若木を植えるというものでした。北海道大学関係者だけでなく、札幌市民をはじめとする全国の皆さまと一体となったポプラ並木再生事業は、札幌農学校創業以来129年の歴史を有する北海道大学の歴史に新たな1ページを加えることになりました。」と述べておられます。

北大ポプラ並木再生事業に学び、交流しよう。

7月1日より、天橋立名松リバーズ展示館（1F）に「北大ポプラ並木再生」事業をパネル展示しています。

## ポプラで作られた作品の一部



倒木した樹木を、北大構内で記念モニュメントにされています。

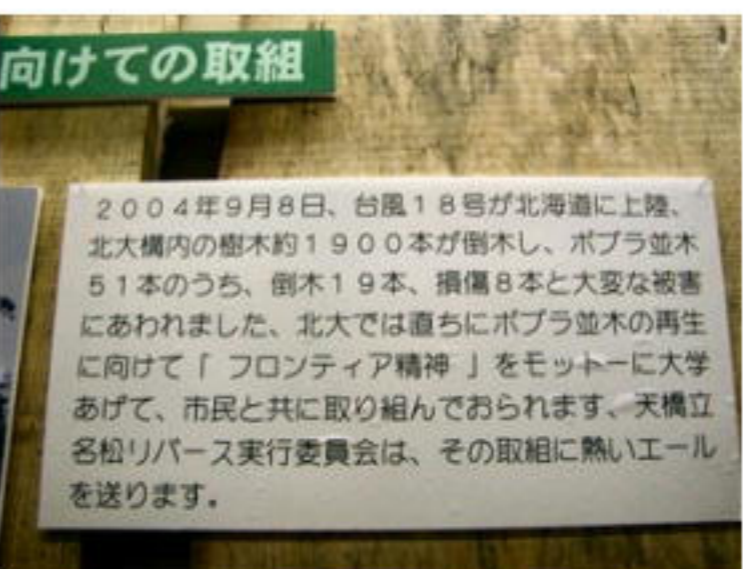


烈風一過  
北大キャンパスの樹々  
2004.9.8 台風18号



北海道大学  
ポプラ並木再生に向かって

7月1日より、天橋立名松リバーズ展示館（1F）に  
「北大ポプラ並木再生」事業をパネル展示しています。



## 天橋立名松リバーズへ 応援メッセージが届きました。

日本を代表する自然資源をユニークな発想によって、訪れる人びとの記念となる作として活用することを通して、地域活性化に役立てようとする試み、ご関係の方々の努力に敬意を評したいと思ひます。

昨年後半、国内にとどまらず、世界各地も自然災害の影響を受け、地域の人びとの生活はいうまでもありませんが、観光に及ぼす被害も多大であります。私も観光研究者による全国組織であります日本観光研究会でも、自然災害の影響については強い関心をよせておりました。5月末に開催した次年シンポジウムは特に「風評被害」を取上げ、小生が基調講演を行うとともに、長崎・雲仙や新潟中越地震関係者を招いて、状況と対応などについて議論しました。

資料で拝見しました天橋立の事例は、自然災害を克服しようとした地域ぐるみでの取組みとして、とても興味深いものでした。さまざまな制度的・法制的なバリアーがあるかと思ひますが、“意欲なくして実現なし”でありますので、これからも試行錯誤があるかと思われれますが、ぜひよい成果をあげられますことを願っております。

2005年6月28日

立教大学名誉教授 前田 勇さま

●第7回 名松リバーズ実行委員会開催  
(6月21日)



去る6月21日、天橋立駅2階で第7回実行委員会を開催しました。暑くなってきたので、松材の管理のあり方が緊急を要すること、特に製材にした松の管理場所の確保が急がれること、オーブンしたりパース館の管理運営、本格的に稼働してきた創作部会への対応、大学・専門学校との交流、リバーズ基金の強化、リバーズダイジェスト版の活用等々、山積みした問題点を検討し、今後の方針を決めました。

リバーズ基金に  
協力してください!

念願のリバーズ館は、多くのメンバーの智恵と汗を結果としてすべて手づくりで作りました。松材の管理・製材・創作等々にどうしても基金が必要で、第7回実行委員会でも基金集めに組織をあげて取り組むことを決めました。メンバーの故金箱ができました。(30組)すでに各施設に置かせていただいています。是非、活用してください。



●第7回 創作部会開催 (6月15日)



西川部会長の下、天橋立龍燈アトコンテストも、現在30数人から応募いただき、着々と進んでいきます。リバーズ館来館者からの申込みや、6月29日の京都伝統工芸専門学校など、受け入れ対策も急ピッチです。毎日大変ですが、でもだんだん楽しくなってきました。

●第3回 ビジョン部会開催 (6月30日)



6月30日午後7時30分より、リバーズ館に於いてビジョン部会を開催しました。松材の管理・創作などの事業を踏まえ、細井部会長からこの災害の記憶を風化させないために、環境保全・景観形成などを考慮した町づくりや、天橋立公園ビジョンの策定提言内容について提案があり、熱っぽい議論をしました。

●宮津商工会議所青年部例会(6月22日)  
テーマ「倒木した松に新しい命を吹き込もう」  
〜リバーズ実行委員会と交流する〜

6月22日、宮津商工会議所青年部6月例会に、名松リバーズ実行委員会が招かれ、幾世実行委員長、西川・細井両副委員長、山本事務局長が出席し、リバーズの事業報告と今後の計画についてお話ししました。青年部の方は30数名出席し、全体会議のあと四つのグループに分かれ意見発表交流がなされました。さすが若い人たちです。松材を活用した商店街・町づくりなど活発な意見が続出し、熱気に包まれた楽しい一夜になりました。



全体会議



4つの分科会

リバーズ館に来られたお客様の声

・松の香りのすがすがしいスペースになっていました。松の木が喜んでる様に思えました。【西原さま】  
・松の素朴な姿を適度な厚みに切つて、表面を磨き花台としての商品にすれば需要があると思います。そういうものになっていたら、買い求めたいと思いました。【東京都練馬区 岡本さま】

・お役に立てませんが、心から応援します。【盛岡市 松岡さま】

・台風による被害で松が倒れた事を知りました。元の景観にもどることを祈ります。【神戸市 上原さま】

ありがとうございました

- ・5月の来館者の募金 二万二千元
- ・文珠の椿原さんより、のみ一式寄贈頂きました。
- ・日本旅行さまより、(天橋立観光協会経由) 十四万七千五百円寄贈
- ・宮津商工会議所青年部さまより、二万円寄贈
- ・天橋立観光協会さまより、十五万円寄贈
- ・文珠繁栄会さまより、十万円寄贈
- ・(株)三洋商事さまより、三十万円寄贈
- ・江戸芸能の望月さまより、一万円寄贈

事務局 日誌

5月31日(火)

緊急部長会

6月2～3日

京都の大学廻り(京都経済同友会経由)  
京都府観光推進研究会で事業説明

5日(日)

部長会議

6日(月)

京都府伝統工芸専門学校 松村校長と学生2名 松村視察

7日(火)

旅行作家の会 総会 リバースをPR(東京)

8日(水)

京都工芸繊維大学 福田教授・小牧主査・学生13名  
松村にてのまちづくりについて懇談する

9日(木)

神山慶子さん打ち合わせ(8/31 リバースチャリティコンサート)  
薫製松材の製材 男山製材所

10日(金)

北大(総務部南課長)のホプラ並木再生(2024/8/8 台風18号被害)事業の視察・交流

13日(月)

チャリティJAZZコンサート 後援依頼(松源寺)

14日(火)

宮津市林業研究会(会長 上家 透氏 リバース館 来館)  
読売新聞取材(15日掲載)

15日(水)

世屋 炭焼き釜 視察  
第7回 創作部会

16日(木)

京都造形芸術大学 事業協力依頼 福田教授・小牧研究協力課主査

17日(金)

装苑アクト 矢田健一氏(多賀議員紹介)民話かみしばい  
MOSAIC 福田洋子氏(チャリティコンサート)後援依頼  
創作部会 龍燈アクトコンサート出展希望者への連絡

20日(月)

部長会

21日(火)

第7回 実行委員会

22日(水)

宮津商工会議所 青年部(6月例会講演)  
JTB 社員研修(リバース館)

24日(金)

日親連北近畿支部総会で講演

26～27日

龍燈アクトコンテスト申込者 松材の提供

28日(火)

東急観光 社員研修  
毎日新聞社 取材

29日(水)

京都府丹後土木事務所 松浦所長へ松材倉庫の件 陳情  
京都府伝統工芸専門学校 松村校長・須藤教授以下学生65名来館 各倉庫視察・交流

30日(木)

第3回 ビジョン部会

7月1日(金)

松材の運送 京都府伝統工芸専門学校 生徒15名来館とお話  
吉津小学校 福田校長以下

7日(木)

天橋立を守る会 総会

9日(土)

京都 五山の送り火(大文字) 松材視察

14日(木)

旅行作家の会 リバース取材の為、来橋

15日(木)

第8回 実行委員会

17日(日)

リバースチャリティJAZZコンサート(智恩寺境内)

25日(月)

阿久根市(鹿見島)市議会議員団 視察

8月6～7日

「竹彩」智恩寺・籠神社 龍燈アクトコンテスト 発表展示

31日(水)

リバース尾藤・神山 ジョイントチャリティコンサート(宮津会館)

今後の予定